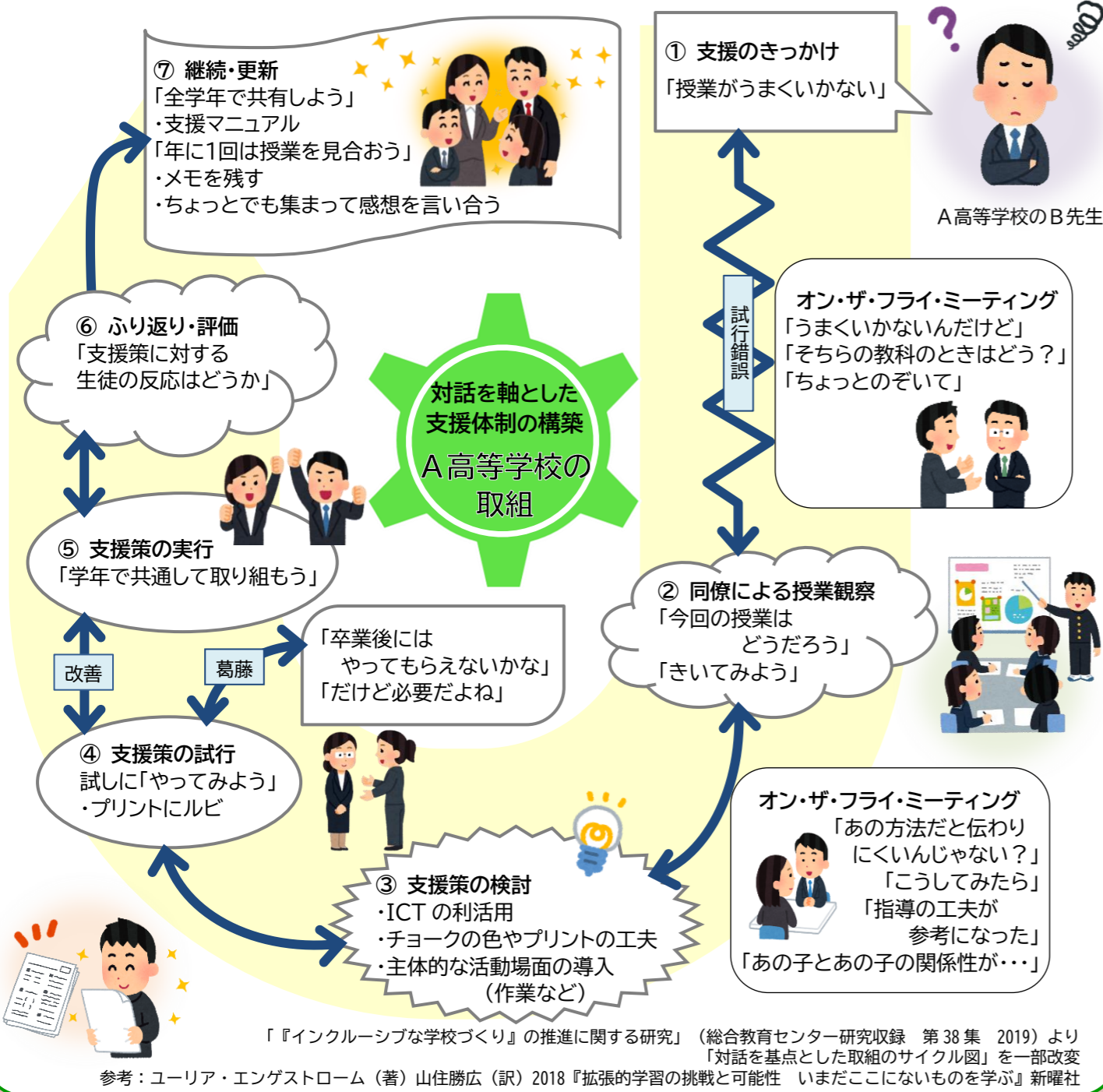


## 対話から支援を考えよう！

「授業づくり」「学級づくり」「学校づくり」について、組織的・連動的に取り組んだ事例を紹介します。それぞれの学校の状況に応じて取組を工夫し、実践を検証しながら継続・更新していくことが大切です。



## #リスペクトでつながろう

自分とは違う。だから、相手を無視する。攻撃する。

そうじゃない。本当は、自分と違うからこそ、その相手をリスペクトできる。そして自分もまた、誰かからリスペクトしてもらえる。

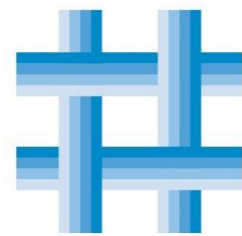
これこそが一人ひとりの個性を大切にしながら「ともに生きる社会」を実現していく方法だと信じて。わたしたち神奈川から始めます。

### ともに生きる社会かながわ憲章

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日

神奈川県



ともに生きる社会  
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

かながわ憲章 検索

# インクルーシブな学校づくり Ver.3.0

## A School for All

- 理想とする学校モデルは一つではありません。子どもたちの多様なニーズに柔軟に応じられる学校づくりを進めましょう。
- インクルーシブな学校づくりは、いじめ・不登校などの未然防止にもつながります。すべての子どもが、集団の中で安心して充実した学校生活を送れるようにしましょう。

あなたの学校・あなたのクラスの話です！

### 共生社会の実現をめざして

すべての学校が **インクルーシブな学校** になるために  
対話を軸としたインクルーシブな学校づくりの事例と、キーワードを紹介します



校内研修等でも  
ご活用ください

- 「#キーワード」は、あなたにとってどんなイメージですか
- 「#キーワード」から、思い浮かぶ経験を周囲の人と共有しましょう
- 「#キーワード」をより一層推進するために、まずできることはどんなことですか

令和2年3月  
神奈川県立総合教育センター





地域で暮らします

大切にされます

# 共生社会 すべての人が

生き生きと生活できます

社会参加できます

支えあって暮らします



## 対話を軸とした インクルーシブな学校づくり

### 子どもの気持ちに寄り添う

子どもにとって居心地のよいクラスを作るために、「何に困っているか」「どのような支援を望んでいるか」など、本人と話をした。

#本人のニーズの把握 #関係づくり

### 多様な価値観を認め合う

クラスで自己理解・相互理解を進める活動を取り入れた。大切にされたい気持ちは、教職員間でも同じ。お互いを理解し尊重しあう関係でありたい。

#自己理解・相互理解 #多様性の尊重

### 教職員間で“日常の授業の様子を共有する”工夫

複数の教職員で授業を担当するTT（ティーム・ティーチング）や、少人数学習、個別学習等、個に応じた支援ができるよう、多様な学習形態を取り入れた。

#多様な学習形態  
一人ひとりの状況に応じて、個人内評価を大切にした。 #個人内評価

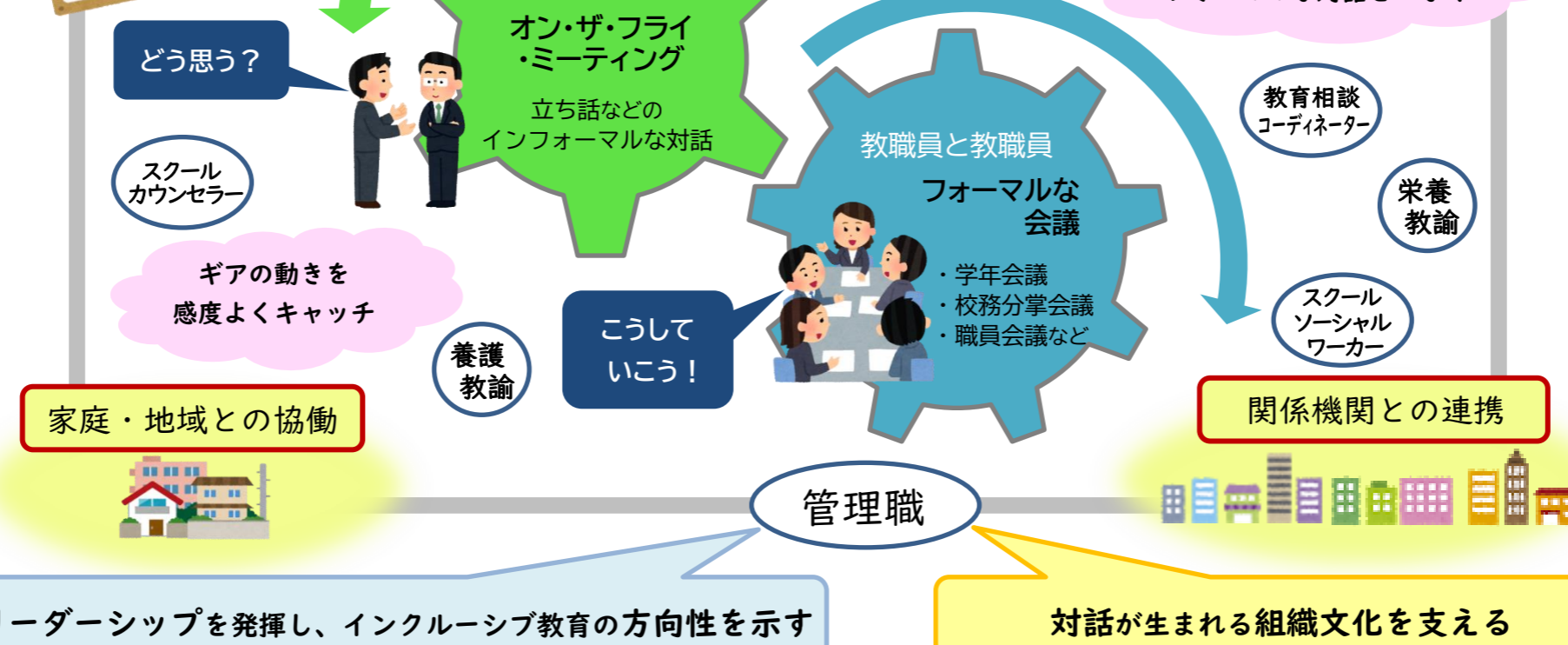
### 保護者との協働

担任として、日頃から子どもたちのできていることに着目し、保護者に伝えた。課題となっていることに詳しい教職員や関係機関等と連携して保護者と協働しながら、チームで対応した。

#保護者との協働 #チームで対応

- チームで支援できる学校づくり
- 居心地のよい安心できる学校づくり
- 地域力を生かし開かれた学校づくり

ギアを回すのはあなたの対話!!



“ちょっとした”子ども同士の対話や、子どもと教職員との対話を、教職員同士の立ち話や、フォーマルな会議の場につなげていくことが、学校を動かす“大きな力”になります。

あれ?困ったな

事務職員

インフォーマルな対話とフォーマルな対話をつなぐ

教育相談コーディネーター

栄養教諭

スクールソーシャルワーカー

関係機関との連携

管理職

リーダーシップを発揮し、インクルーシブ教育の方向性を示す

対話が生まれる組織文化を支える

話しやすい・聞きやすい雰囲気

情報交換・共有しやすい風土

### 教職員間での“困りの共有”から生まれた支援のヒント

多様な教育的ニーズのある子どもたちにどのような支援を行えばよいのかわからない時、学年・教科にとらわれず、様々な教職員に困っていることを話した。

#困りの共有 #教職員みんなで支援  
進級・進学時に、支援策や具体的な指導方法を引き継ぎ、情報共有した。  
#情報を引き継ぐ仕組みづくり

### 対話が生まれる組織文化

困難な時こそコミュニケーションをとり、共通理解しながら進めていくことが、支援体制の構築につながった。日頃から何気ない雑談などが話しやすい雰囲気と、管理職のバックアップが心強かった。

#話しやすい雰囲気

日々の対話が取組の原動力。組織的な取組のためには、フォーマルな議論の場につなぐことが必要だ。

#組織的な取組

### 継続した校内支援体制

教職員が入れ替わっても学校として支援の仕組みが継続できるように、学校としての支援方針やルールを確認した。

#学校の特色に合わせた支援体制

『「インクルーシブな学校づくり」の推進に関する研究』(総合教育センター研究収録 第38集 2019)を基に作成

さまざまな課題を抱えた子どもたち一人ひとりのニーズに適切に対応する

支援教育

多様性を尊重し、個性や能力を伸ばす、質の高い教育

共に学ぶ仕組みづくり

個のニーズに応じた専門的な教育

